

循環アダプター 工事説明書

型式 JA-400シリーズ
X2B-Lシリーズ

2NC000

注意

■工事される方へのお願い

- 機器を正しく安全にご使用いただくために、この「工事説明書」をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
(機器本体の工事説明書と併せてお読みください。)

■循環アダプターの種類

- この循環アダプターには行き・戻りの指定はありません。(無極性タイプ)
- この循環アダプターは、浴槽の厚さ15mm以下専用です。

| 循環アダプターの型式 | 接続タイプ |
|---|-------------------------|
| JA-400SNR・JA-400YNR | ネジ接続 又は、 ロー付けジョイント接続 |
| JA-400ST-10・JA-400YT-10 X2B-L・X2B-LL | φ10樹脂管接続 (10Aタケノコ) |

※肉厚浴槽に取り付ける場合は下記別売部品が必要になります。

| | |
|-------|--------------|
| S18A0 | 15~30mm肉厚浴槽用 |
| S18A1 | 30~45mm肉厚浴槽用 |

■同梱部品

- 上記の型式の梱包内には本紙とL X お掃除シールの他に下記取付図に示す部品が入っています。取り付けの前にご確認ください。

下記型式については下記表の部品も同梱されています。

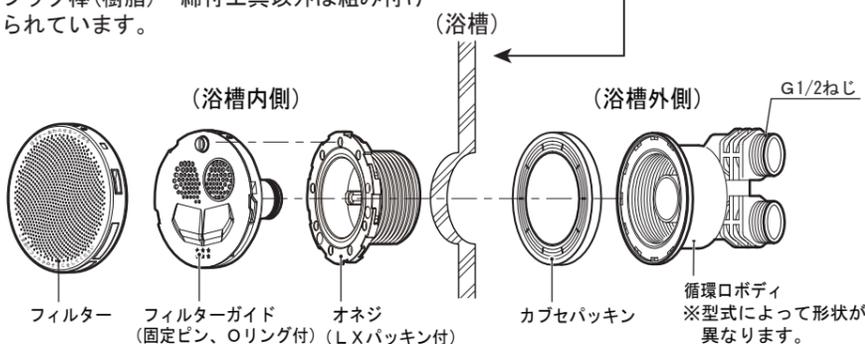
| 型式 | 部品 | 個数 |
|-------------------------|------------------------|----|
| JA-400SNR・JA-400YNR | ロー付けジョイント + パッキン | 各2 |
| JA-400ST-10・JA-400YT-10 | バンド | 4 |

■取付図(同梱部品)



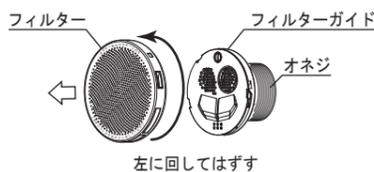
※フック棒(樹脂)・締付工具以外は組み付けられています。

FRP製の浴槽等浴槽外面に凹凸がある場合は、サンドペーパー等で浴槽外面に凹凸がないように仕上げ処理してください。



■分解方法

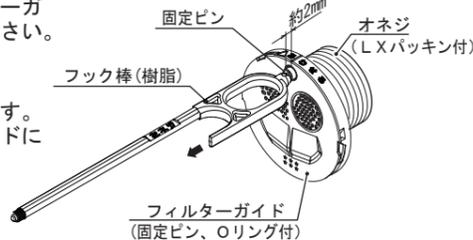
- ①フィルターを左に回して取りはずしてください。



- ②フィルターガイドの固定ピンにフック棒(樹脂)を差し込み軽く引き固定ピンの頭部が2mmほど飛び出した状態にした後にフック棒(樹脂)を抜いてから、フィルターガイドを左に回してオネジから取りはずしてください。

注) フィルターガイドの固定ピンは2mm以上引き出さないでください。フィルターガイドから固定ピンがはずれ、紛失などの原因となります。固定ピンがはずれた場合は、フィルターガイドに差し込んでください。

- ③オネジを左に回して取りはずしてください。



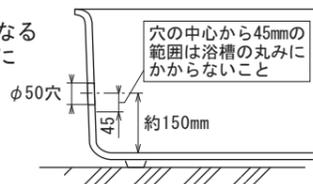
■施工方法

1. 浴槽の穴あけ工事

- ①浴槽の底部から約150mmのできるだけ浴槽の中心に近い位置で、循環アダプター取り付け面が平面な部分(直径80mm以上を確保)にφ50±1mmの穴を1箇所あけてください。

- ②浴槽穴あけ後のバリをきれいに取り除いてください。
- ③循環アダプターのカプセパッキン当たり面は、厚みが均一になるよう浴槽の保温材を除去し、内側、外側とも凹凸のないように仕上げてください。

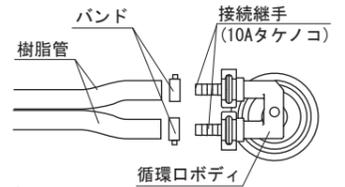
穴あけ後のバリや凹凸があると水漏れの原因となります。



2. 循環アダプターと追いだき配管の接続

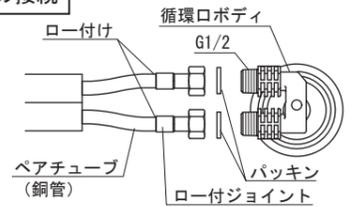
φ10樹脂管接続タイプの場合……樹脂管との接続

- ①循環アダプターを分解してください。
- ②循環口ボディと樹脂管を接続してください。
(付属のバンドを取り付けてください。)
循環口ボディから接続継手(10Aタケノコ)が取りはずせませんので、設置場所の状況に応じて取りはずして使用してください。
(製品によってはバンドが同梱されていないものもあります)



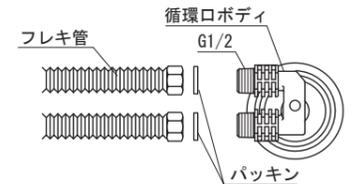
ロー付け接続タイプの場合……ペアチューブ(銅管)との接続

- ①循環アダプターを分解してください。
 - ②ロー付けジョイントとペアチューブ(銅管)をロー付け接続してください。
- 注) ロー付けは、循環口ボディにロー付けジョイントを取り付ける前に行ってください。循環口ボディにロー付けジョイントが取り付けられた状態でロー付けをすると、循環口ボディやパッキンを傷め、水漏れの原因となります。
- ③循環口ボディにロー付けジョイントをしっかりと{20N・m(約200kgf・cm)程度}固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1回転程度右へ回してください。
 - 注) 必ず付属のパッキンを取り付けてください。
 - ④追いだき配管は、いったん立ち下げてください。



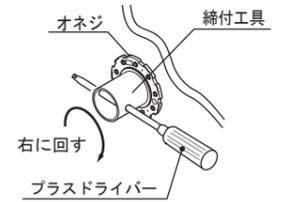
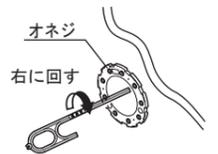
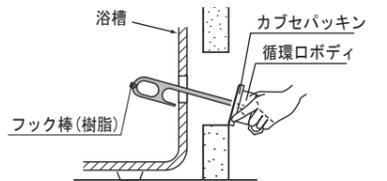
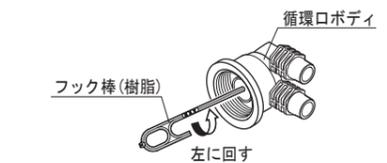
ねじ接続タイプの場合……フレキ管との接続

- ①循環アダプターを分解してください。
- ②循環口ボディにフレキ管をしっかりと{20N・m(約200kgf・cm)程度}固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1回転程度右へ回してください。
- 注) 必ず付属のパッキンを取り付けてください。



3. 循環アダプターの取り付け

- ①循環口ボディの中の左ネジ部にフック棒(樹脂)を取り付けてください。(左ねじになっていますので、左に回して取り付けてください)
- ②浴槽の穴にフック棒(樹脂)の柄の部分引っかけてください。
- ③浴槽側からフック棒(樹脂)を引き寄せ、L X パッキン・オネジを通し、オネジを循環口ボディに手締めしてください。
- ④フック棒(樹脂)を右に回して取りはずしてください。
- ⑤締付工具をオネジに差し込み、右に回してしっかりと{15N・m(約150kgf・cm)程度}固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1/2回転程度右へ回してください。



注) 締め付けすぎると水漏れやネジ部の破損の原因となります。

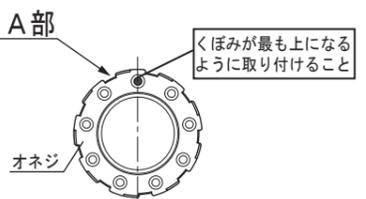
注1) オネジの9個あるくぼみのいずれかが、最も上になるように取り付けてください。

注2) オネジの締め付け不足は水漏れの原因となります。

注3) L X パッキンが変形してオネジからはみ出していないことを確認してください。L X パッキンが変形してオネジからはみ出した場合は、一度オネジを取り外し、再度締め付けてください。(L X パッキンを水でぬらすとはみ出しにくくなります)

注4) 追いだき配管を引っ張る等、荷重のかかる状態で接続しないでください。

注5) 循環アダプターの点検ができるように必ずメンテロを設けてください。



⑥ 漏れ検査

- 専用の漏水検査治具(W0003またはW000A)を使用して、追いだき配管の漏れ検査を必ず行ってください。

- 浴槽の外側(循環口ボディ側)の水漏れがないことを確認してください。[浴槽の内側(オネジ側)の水漏れの場合、オネジの間からの水漏れは関係ありません]

- 検査は水圧0.2MPa(約2.0kgf/cm²)・30分間です。[0.3MPa(約3.0kgf/cm²)以上加圧しないでください。また、機器本体を通じての加圧はしないでください]

⑦ フィルターガイド・フィルターを取り付けてください。

注) フィルターガイドは必ずオネジの「A部」にフィルターガイド側面の「△」マークを合わせて奥まで差し込み、オネジとの間にすきまがないことを確認してからフィルターガイドを右に止まるまで回し、フィルターガイドの固定ピンを押し込んで固定してください。

※フィルターガイドがしっかりと固定されているか確認してください。

フィルターガイドを引張って簡単に外れる場合は、フィルターガイドが正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。また、上記以外の位置で取り付けると、ふろの沸き上がり温度が上下均一になりませんので、ご注意ください。

フィルターはフィルターガイド側面の「△」マークにフィルター正面の「△」マークを合わせてはめ込んでから、右に止まるまで回してください。

